

2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)

相模原市花・緑出展「屋外庭園」の内容を公表します！

相模原市は、令和9年3月19日(金)から、横浜市で開催される「2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)」に屋外庭園を出展し、国内外から来場される多くの方々に、本市の魅力や取組を発信します。

1 相模原市出展概要

- (1) 出展種別:花・緑出展(屋外出展)
- (2) 期 間:令和9年3月19日(金)～9月26日(日)(全期間)
- (3) 面 積:約300㎡
- (4) エ リ ア:自治体出展 西側エリア

2 庭園デザイン



※内容は今後変更する場合があります。

3 デザインコンセプト

「みどりとともに、子どもの夢を育むまち さがみはら」

- ・相模原市の魅力的なモノ・コト・風景を季節の花や緑とともに表現します。
- ・子どもから大人まで、相模原市の“いいところ”を体験しながら学んでもらう空間をつくりま
- す。
- ・自然との共生、資源の再生循環といった持続可能な社会を実現するために、「さがみはら津久井産材」などの地場材をメイン素材として空間をつくりま
- す。
- ・ガーデンデザインや庭園を彩るモニュメントなど、庭園づくりに市民が関われる仕組みを取り入
- れます。

4 市民と一緒に作り上げる展示

屋外庭園のテーマである「みどりとともに、子どもの夢を育むまち さがみはら」にちなみ、子どもが自身の「夢」を文字やイラスト等で描いた木製ピースで「子どもの夢を育む木」を制作し、庭園内に展示します。

第1弾の制作ワークショップは「おおのキッズフェスタ」で開催予定です。

開催日時:令和8年10月10日(土) 10時~15時

場 所:相模大野中央公園(南区相模大野4-2-2)

<https://www.kanagawaparks.com/sagamionochuo/event/202608231455367010.html>



「子どもの夢を育む木」イメージ

次回以降の日程は市ホームページなどでお知らせします。

5 博覧会概要

名 称:2027年国際園芸博覧会

正式略称:GREEN×EXPO 2027

開催場所:神奈川県横浜市(旧上瀬谷通信施設)

開催期間:令和9年3月19日(金)

~令和9年9月26日(日)

テーマ:『幸せを創る明日の風景』

公式ウェブサイト

<https://expo2027yokohama.or.jp/>



公式ウェブサイト



2027年国際園芸博覧会
2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷



問合せ先

出展に関すること

水みどり環境課

直通電話 042-769-8242

工事に関すること

公園課

直通電話 042-769-8243

2027年国際園芸博覧(GREEN×EXPO 2027)

相模原市 花・緑出展【屋外出展】について



GREEN × EXPO 2027
公式マスコットキャラクター
トウントウク



会場イメージパース

名 称:2027年国際園芸博覧会

正式略称:GREEN×EXPO 2027

開催場所:神奈川県横浜市(旧上瀬谷通信施設)

開催期間:2027(令和9)年3月19日(金)

~2027(令和9)年9月26日(日)

テーマ:『幸せを創る明日の風景』

公式ウェブサイト

<https://expo2027yokohama.or.jp/>



公式ウェブサイト

相模原市 出展概要

出展種別:花・緑出展(屋外出展)

期間:2027(令和9)年3月19日(金)~9月26日(日)(全期間)

面積:約300m²

エリア:自治体出展 西側エリア



さがみはらガーデン

みどりとともに、子どもの夢を育むまち さがみはら

○相模原市の魅力的なモノ・コト・風景を季節の花や緑とともに表現します。

○子どもから大人まで、相模原市の“いいところ”を体験しながら学んでもらう空間をつくります。

○自然との共生、資源の再生循環といった持続可能な社会を実現するために、「さがみはら津久井産材」などの地場材をメイン素材として空間をつくります。

○ガーデンデザインや庭園を彩るモニュメントなど、庭園づくりに市民が関われる仕組みを取り入れます。



※内容は今後変更する場合があります。

こもればいテラス

津久井の山々から生み出される「さがみはら津久井産材」を使用したテラスです。ゆるやかにカーブした屋根は、緑化を行い、津久井の山並みを表現しています。

さがみはらっぱ

多目的に活用できる芝のオープンスペースです。相模原市にゆかりのある植物をご紹介します。

ののみちガーデン

庭園全体の背景となるグリーンをベースとしつつ、季節の草花が楽しめるガーデンです。

ウェルカムガーデン

季節の草花、市内で間伐した竹や木を活用した展示物と華やかな草花で、訪れた人をおもてなしします。

○3つのテーマに合わせた展示物と植栽で市の魅力を表現します。

○庭園内に設置したデジタルサイネージを活用し、テーマに合わせて市の魅力などを来場者へPRします。

展示スケジュール

開催期間	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
展示テーマ		「子どもがワクワクするまち」	「宇宙を身近に感じられるまち」	「未来を感じるまち」			
メイン展示物		相模の大風			火星探査機MMX		リニア中央新幹線

第1期「子どもがワクワクするまち」

相模原市は、「子育てするなら相模原」として選んでもらえるまちづくりを進めています。端午の節句に子どもの誕生を祝う市の伝統的・文化的なシンボルである「相模の大風」をメインにした、訪れたお子さんがワクワクする展示でおもてなしします。



第2期「宇宙を身近に感じられるまち」

JAXA宇宙科学研究所がある相模原市は、「宇宙を身近に感じられるまち」として様々な事業を行っています。今年秋には、世界初の火星衛星探査機「MMX」が打ち上げられる予定です。MMXの展示を通じて宇宙を身近に感じてください。



第3期「未来を感じるまち」

相模原市では、橋本地区においてリニア中央新幹線の駅設置とまちづくりが未来に向けて進んでいます。相模原市のこれからのまちづくりについてご紹介するとともに、新幹線の再生アルミを使用したリニアの展示をメインに、未来を感じるはなやかなガーデンでおもてなしします。



市民と一緒に作り上げる展示

子どもの「夢」を育む木

屋外庭園のテーマである「みどりとともに、子どもの夢を育むまち さがみはら」にちなみ、子どもが自身の「夢」を文字やイラスト等で描いた木製ピースで展示を制作します。完成したボードはこもれびテラスに展示します。



完成イメージ

資源の再生循環の取組

木もれびの森など市の管理緑地で伐採した間伐材(広葉樹)を、こもれびテラスのデッキ材やスツール、展示等に活用することを試みています。



市管理緑地で伐採した広葉樹



製材されたデッキ材

手入れがされず、拡大している竹林で伐採された竹を活用し、庭園内のウォールを製作しています。日よけを兼ねて庭園の南側に設置する予定です。



放置された竹林



伐採された竹

庭園を彩るゆかりのある植物

照手のハナモモ

照手のハナモモは、現在の横山公園内にあった神奈川県県園芸試験場相模原分場で生まれました。

姥川流域に伝わる「照手姫伝説」にちなみ名づけられました。



神奈川県農業技術センター提供

号堂桜（普賢象）

明治45年、当時東京市長だった尾崎号堂は、日米友好の証しとして、ワシントンに桜の苗木約3,000本を贈りました。平成4年には、旧津久井町内に4種32本の桜の苗木が植樹され、当時の津久井町長が「号堂桜」と名付けました。その品種の桜をメインツリーとして植樹します。



市立博物館提供

ミシマサイコ

相模原市域には古来より相模野台地と云われる広大な原野があり、自生のミシマサイコが咲いていたことから、「柴胡が原」と言われており、市歌にも歌われています。



相模原柴胡の会提供